

第23回 清川村子ども議会



役

場庁舎3階・議場で2月16日、第23回清川村子ども議会が開催されました。

今回の子ども議会は、緑小学校の6年生と宮ヶ瀬小学校5・6年生の16人が子ども議員となり、5つの班に分かれて村政に対し鋭く提案などを投げかけました。

招集あいさつでは、岩澤村長が、「11月28日に、村長講話として、「みんなで考える村づくり」をテーマとして私の思いをお話させていただきました。その時に皆さんが考える村づくりについてお願いしました。ぜひ、自信をもって提案してください」とお話しされました。

今月号では、前半の1・3班の皆さんからいただいたご質問やご提案と、それに対する村の回答をご紹介します。

問 学校教育課学校教育係
☎(2080)1215

1班

清川村のオリジナルLINEスタンプを作りたい

Q 清川村は神奈川県唯一の村で、宮ヶ瀬ダムがあったり、きょうりんがいたりしますが、全国的に知名度が高いとは言えません。そこで、世の中で流通しているSNSのアプリのスタンプを作って、道の駅やクリエイト、宮ヶ瀬ダムなどで買い物をしたお客さんに無料配布し、使ってもらうことで、知名度を上げるのはどうでしょうか。

は、県内市町ではひとつもなく、企業や個人の方などが、各自自治体の許可を得て、有料で販売しているものがほとんどです。

新たな「きょうりんグッズ」のひとつとして、LINEスタンプがつけられるかどうか、また、村がつくって販売するか、村内で活躍する民間企業の方などがつくって販売するのが良いのかなど、関係する皆さんと一緒に検討してみたいと思います。

A

ご提案のとおり、無料でLINEスタンプを配布すれば大きな知名度を得ることができますが、無料で配布するためには、LINE公式アカウントを継続する経費として、数千円の利用費がかかります。このため、自分たちの地域のマスコットキャラクターのLINEスタンプを無料で配布しているところ



2 班

村内専用無料バスを走らせてほしい

Q

清川村には高齢者の方が多いですが、交通手段が少なく清川村の中心地から遠い地域に住む人にとっては不便です。そこで、SDGsの「全ての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくり」という目標に繋げるため、子どもやお年寄りの方が村内を移動しやすくなる電気自動車の村内専用無料バスを導入してはどうでしょうか。また、無料バスを導入することで雇用が増え、村のPRにもつながると思います。

A

昔は、村内に複数のバス路線がありましたが、利用者が少ないことから、現在の神奈中バスさんの「本厚木駅行き」のみとなっています。村としては、本厚木駅行きのバスをなんとか守っていきたいと考えており、通勤や通学の帰り



の時間帯に合わせて、平日の朝と夜に追加便を運行してもらうため、神奈中バスさんに補助金を出して、皆さんにたくさんバスを使ってもらおうとしています。ご提案いただいた村内専用無料バスは、今後、神奈中バスさんと相談しながら検討していきたいと思います。また、以前は「高齢者おでかけ支援バス」として運行していましたが、今は「ふれあいセンター送迎車」として、ワゴン車を運行しています。誰でも利用ができ、クリエイトなどにも停車しますので、面白い物などにご活用ください。

3 班

人口や観光客を増やすためにPR作戦を提案します!!

Q

清川村の人口や観光客を増やすためにさまざまな取り組みをされていると思いますが、私たちが考えたPR作戦を提案します。まず、「きよりゅん」の着ぐるみを作って、色々なイベントに参加してもらい、村の魅力を伝えるため、観光スポットや補助制度のPR動画にも「きよりゅん」に登場してもらい、YouTubeなどで配信してはどうでしょうか。

A

村でも「きよりゅん」が誕生した時には、着ぐるみの制作を検討しましたが、「きよりゅん」の持つイメージを壊さないよう、また、着用する職員への研修や負担などの課題が多く、制作には至りませんでした。

ご提案のとおり、最近YouTubeを見る人が



多く、YouTubeを含めたテレビなどのメディアを通じて、村を知っていただくことは、非常に重要な戦略ですので、引き続き取り組んでいきたいと思っています。また、これまで村が制作した動画に「きよりゅん」を活用したものはありませんでしたので、今後は「きよりゅん」にもたくさん登場してもらい、一緒に村を盛り上げてもらいたいと思います。

後半は来月号でご紹介しますので、楽しみに！

前半の子ども議員の皆さん(敬称略)

3 班
大嶋 彩乃
齋藤 瑞季

2 班
大熊 心結
竹内 陽歌
能戸 恋歌
森 結樂

1 班
井上 恭伍
杉山 麗
モハメドウマル

議長…三辻 佳
書記…平川 拓海